

独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務成果報告書

# リスクコミュニケーションの国内事例 に関するコンテンツ拡充のための調査

## 報 告 書

平成21年3月

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社

# 目 次

---

|   |    |
|---|----|
| 1. 件名 .....                                     | 1  |
| 2. 目的 .....                                     | 1  |
| 3. 作業概要 .....                                   | 1  |
| 4. アンケート調査について.....                             | 1  |
| 4. 1 調査対象とするリスクコミュニケーション .....                  | 1  |
| 4. 2 対象事業者 .....                                | 2  |
| 4. 3 調査方法 .....                                 | 2  |
| 4. 4 データの集計.....                                | 2  |
| 4. 4. 1 設問1 2008年度リスクコミュニケーションの実施状況.....        | 3  |
| 4. 4. 2 設問2 実施したリスクコミュニケーションの形式.....            | 4  |
| 4. 4. 3 設問4 事業の実施主体.....                        | 6  |
| 4. 4. 4 設問5 事業の開催頻度.....                        | 7  |
| 4. 4. 5 設問6 事業の実施場所.....                        | 9  |
| 4. 4. 6 設問8 事業の主な対象者 .....                      | 10 |
| 4. 4. 7 設問9 当日の発言者・傍聴者の状況.....                  | 11 |
| 4. 4. 8 設問10 事業の参加者人数 .....                     | 12 |
| 4. 4. 9 設問11 第三者への依頼状況及び依頼内容.....               | 13 |
| 4. 4. 10 設問13 当日の経費（お茶代、会場費等） .....             | 15 |
| 4. 4. 11 設問14 開催の告知方法 .....                     | 16 |
| 4. 4. 12 設問15 説明した環境への取組内容 .....                | 17 |
| 4. 4. 13 設問16 説明に対する質問内容 .....                  | 18 |
| 4. 4. 14 設問17 参加者に対するアンケートの実施状況.....            | 19 |
| 4. 4. 15 設問18 参加者に対する事前勉強会等の実施状況 .....          | 20 |
| 4. 4. 16 設問19 リスクコミュニケーション事業実施の公表有無／公表方法 .....  | 21 |
| 4. 4. 17 設問21 詳細調査への協力可否 .....                  | 23 |
| 4. 4. 18 設問22 リスクコミュニケーション事業を実施しなかった理由 ...      | 24 |
| 4. 4. 19 設問23 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定／予定時期 ..... | 25 |
| 4. 4. 20 設問24 環境報告書の作成状況 .....                  | 26 |
| 4. 4. 21 設問25 PRTR 制度の届出対象／環境報告書への記載.....       | 27 |
| 4. 4. 22 設問26 環境報告書等を用いた PRTR 対象物質等の説明 .....    | 28 |
| 5. 詳細調査について.....                                | 29 |

|      |                         |    |
|------|-------------------------|----|
| 5. 1 | 三菱レイヨン株式会社 富山事業所殿.....  | 29 |
| 5. 2 | 日立化成工業株式会社 五所宮事業所殿..... | 32 |
| 5. 3 | シャープ株式会社 三重工場殿.....     | 35 |
| 5. 4 | 矢崎電線株式会社 沼津製作所殿.....    | 38 |
| 5. 5 | 日本化薬株式会社 厚狭工場殿.....     | 42 |
| 6.   | ウェブページコンテンツの作成.....     | 46 |
| 7.   | まとめ.....                | 47 |

## 1. 件名

リスクコミュニケーションの国内事例に関するコンテンツ拡充のための調査

## 2. 目的

事業者及び自治体における化学物質の自主管理を推進し、化学物質管理に関する国民の理解を増進するため、独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター殿（以下、「化学物質管理センター殿」という。）のウェブページで「リスクコミュニケーションの国内事例」が公開され、その事例が拡充されてきた。

本業務の目的は、「リスクコミュニケーションの国内事例」のコンテンツに最新の情報を調査し、掲載することである。

## 3. 作業概要

ホームページコンテンツ「リスクコミュニケーションの国内事例（以下、「国内事例」という。）」では、都道府県毎に、事業者及び自治体等が実施したリスクコミュニケーションの事例が掲載されている。

(URL : <http://www.safe.nite.go.jp/management/risk/kokunaijirei.html>)

本業務においては、「国内事例」について、データの追加を行うため、以下の作業を行った。

- ① 平成 20 年度現在掲載している約 210 社に対し、平成 19 年以降に行ったリスクコミュニケーションについてアンケートを行い、アンケート結果について各項目の単純集計を行った。  
また、リスコミの実施の有無について問い 26～28 の回答を分類し、集計した。さらにそのうち特徴的な約 5 件について、ヒアリング等の詳細な調査を実施した。
- ② 集計結果及び詳細調査結果に基づき、その傾向等を取りまとめた報告書（本紙）を作成した。
- ③ 調査結果をウェブページ「国内事例」に反映させるための原稿を化学物質管理センター殿から提供を受けた html ファイルをもとに作成した。

## 4. アンケート調査について

### 4. 1 調査対象とするリスクコミュニケーション

「企業や自治体等が実際に行った化学物質管理を含む環境関連の対話やイベント」とし、工場見学、お祭り、個別訪問の形式を問わず、PRTR データなど化学物質管理を含む環境の取組を伝えている場合とした。

なお、清掃活動や自然観察などの環境関係のイベントであっても、自社の取組についての説明がないイベント等は対象としなかった。

#### 4. 2 対象事業者

平成 19 年度の「リスクコミュニケーションの国内事例調査」によりリスクコミュニケーションを行っている約 200 社と化学物質管理センター殿から情報の提供を受けた 10 社程度の事業者、合計 218 社であった。対象事業者一覧は、資料 2 のとおりである。

#### 4. 3 調査方法

アンケートの内容は、化学物質管理センター殿から提供を受けた情報をもとに、加筆・修正のうえ作成した。アンケート調査票は資料 2 のとおりである。アンケート票は郵送にて送付、回収した。アンケート票の郵送前には、調査への協力依頼及び発送先の確認を行うため、対象事業者に電話にて問い合わせを行った。問い合わせ時のスクリプトを資料 2 のとおりである。一つの事業者が、複数の事業所でリスクコミュニケーションを行っている場合は、その事業所ごとを対象とし、その送付先は化学物質管理センター殿から明示を受けた。

#### 4. 4 データの集計

各項目にて集計し、表計算ソフトの表にまとめた。

データ管理の方法については、契約仕様書の記載及び化学物質管理センター殿情報業務課担当者殿（以下、「担当者殿」という。）の指示に従った。

それぞれの項目毎の集計結果を以下に示す。

#### 4. 4. 1 設問1 2008年度リスクコミュニケーションの実施状況

表 4. 4. 1 2008年度リスクコミュニケーションの実施状況

| サンプル数 | 実施した | 実施していない |
|-------|------|---------|
| 64    | 49   | 15      |
| 100.0 | 76.6 | 23.4    |

設問1 2008年度リスクコミュニケーションの実施状況  
(N =64)

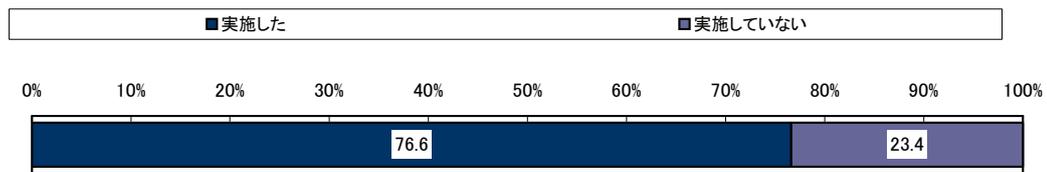


図 4. 4. 1 2008年度リスクコミュニケーションの実施状況

回答のあった事業所のうち、2008年度にリスクコミュニケーションを実施したのは、49事業所（76.6%）であった。

4. 4. 2 設問2 実施したリスクコミュニケーションの形式

表4. 4. 2-1 実施したリスクコミュニケーションの形式

| サンプル数 | 地域説明会・対話集会 | 自治体によるモデル事業への参加 | 設備の更新や新設などの工事説明会 | 工場見学会(一般市民向け) | 環境報告書を読む会 | 地域協定やモニタリング結果報告会 | 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など(子供向け) | 催し物(お祭り、花見、文化祭、地域活動等) | JRCC地域説明会への参加 | 事故等によるトラブルに対する説明会 | その他 | 不明  |
|-------|------------|-----------------|------------------|---------------|-----------|------------------|-----------------------------|-----------------------|---------------|-------------------|-----|-----|
| 49    | 31         | 3               | 3                | 25            | 6         | 4                | 25                          | 22                    | 8             | -                 | 3   | 1   |
| 100.0 | 63.3       | 6.1             | 6.1              | 51.0          | 12.2      | 8.2              | 51.0                        | 44.9                  | 16.3          | -                 | 6.1 | 2.0 |

設問2 実施したリスクコミュニケーションの形式

(N = 49)

%

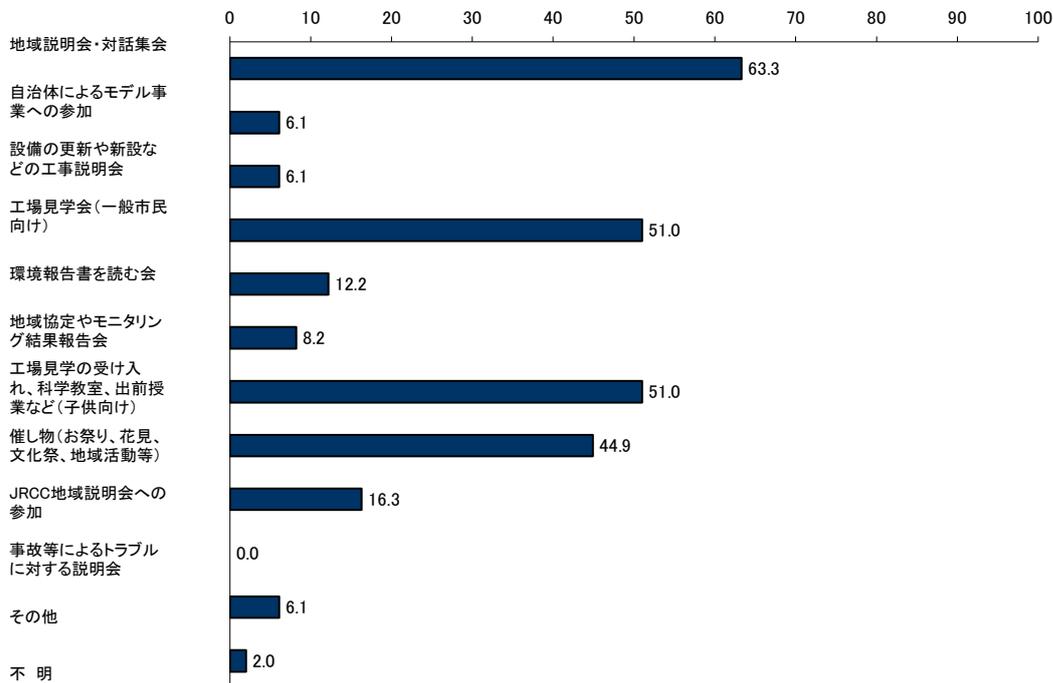


図4. 4. 2-1 実施したリスクコミュニケーションの形式

実施したリスクコミュニケーションの形式については、「地域説明会・対話集会」が63.3%と最も多く、次いで「工場見学会(一般市民向け)」(51.0%)、「工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など(子供向け)」(51.0%)の順となっている。

表4. 4. 2-2 最も主要なリスクコミュニケーションの形式

| サンプル数 | 地域説明会・対話集会 | 自治体によるモデル事業への参加 | 設備の更新や新設などの工事説明会 | 工場見学会(一般市民向け) | 環境報告書を読む会 | 地域協定やモニタリング結果報告会 | 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など(子供向け) | 催し物(お祭り、花見、文化祭、地域活動等) | JRCC地域説明会への参加 | 事故等によるトラブルに対する説明会 | その他 | 不明   |
|-------|------------|-----------------|------------------|---------------|-----------|------------------|-----------------------------|-----------------------|---------------|-------------------|-----|------|
| 49    | 11         | -               | -                | -             | 2         | -                | 2                           | 2                     | -             | -                 | -   | 32   |
| 100.0 | 22.4       | -               | -                | -             | 4.1       | -                | 4.1                         | 4.1                   | -             | -                 | -   | 65.3 |

設問2 実施したリスクコミュニケーションの形式のうち、最も主要な形式  
(N =49)

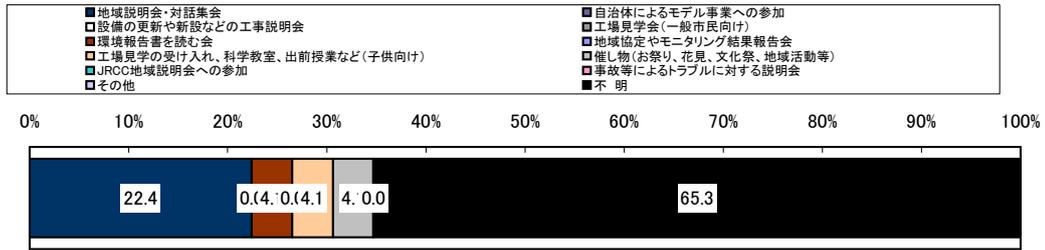


図 4. 4. 2-2 最も主要なリスクコミュニケーションの形式

また、最も主要な形式については、半数以上が無回答であった。回答のあった中では、「地域説明会・対話集会」が22.4%と最も多くなっている。

#### 4. 4. 3 設問4 事業の実施主体

表 4. 4. 3 事業の実施主体

| サンプル数 | 当社(事業所) | 都道府県、市、町などの自治体主催 | 事業者団体等の主催 | NGO が主催 | 共催  | その他 | 不明   |
|-------|---------|------------------|-----------|---------|-----|-----|------|
| 49    | 30      | 5                | 2         | -       | 3   | 1   | 8    |
| 100.0 | 61.2    | 10.2             | 4.1       | -       | 6.1 | 2.0 | 16.3 |

設問4 事業の実施主体  
(N=49)

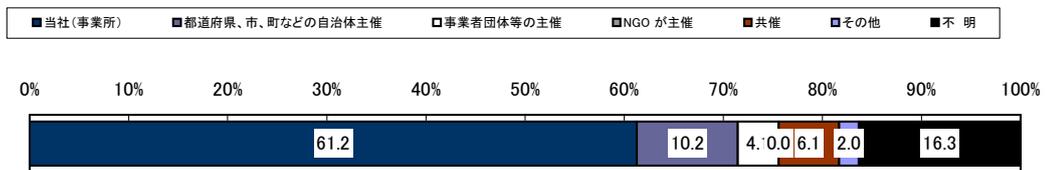


図 4. 4. 3 事業の実施主体

事業の実施主体については、「当社(事業所)」が 61.2%と最も多く、次いで「不明」(16.3%)、「都道府県、市、町などの自治体主催」(10.2%)の順となっている。

4. 4. 4 設問5 事業の開催頻度

表 4. 4. 4-1 事業の開催頻度

| サンプル数 | 定期的  | 不定期(必要な時など) | 2008(平成20)年度限り | 不明  |
|-------|------|-------------|----------------|-----|
| 49    | 37   | 7           | 1              | 4   |
| 100.0 | 75.5 | 14.3        | 2.0            | 8.2 |

設問5 事業は定期的に行われるものか (N=49)

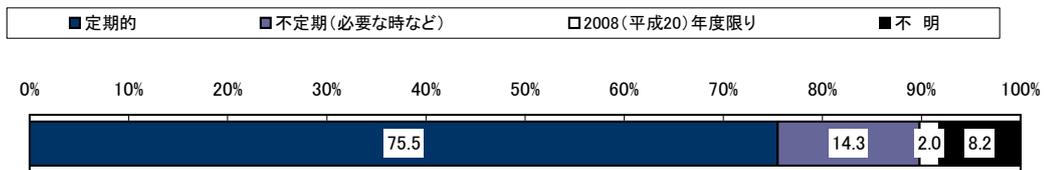


図 4. 4. 4-1 事業の開催頻度

事業の開催頻度については、「定期的」が75.5%と最も多く、次いで「不定期(必要な時など)」(14.3%)、「不明」(8.2%)の順となっている。また、「2008(平成20)年度限り」は2.0%であり、2008年度に実施した事業所では、定期的にリスクコミュニケーション事業を開催していることが伺える。

表 4. 4. 4-2 事業の開催頻度(「定期的」と回答した事業所のみ)

| サンプル数 | 隔年毎に | 毎年   | 年に数回 | 不明  |
|-------|------|------|------|-----|
| 37    | 2    | 24   | 8    | 3   |
| 100.0 | 5.4  | 64.9 | 21.6 | 8.1 |

設問5 事業の定期的な実施状況 (N=37)

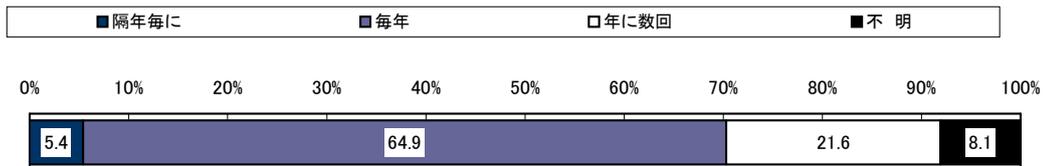


図 4. 4. 4-2 事業の開催頻度(「定期的」と回答した事業所のみ)

また、定期的で開催していると回答のあった事業所における開催頻度は、「毎年」が64.9%

と最も多く、次いで「年に数回」(21.6%)、「隔年毎に」(5.4%)となっており、「毎年」と「年に数回」をあわせると8割を超えており、毎年リスクコミュニケーション事業を開催していることが伺える。

4. 4. 5 設問6 事業の実施場所

表 4. 4. 5 事業の実施場所

| サンプル数 | 事業所内 | 事業所外の<br>自社の関連<br>施設 | 公共施設 | ホテルなど<br>民間貸し会<br>場 | 事業所外の<br>催物のあつ<br>た場所(展<br>示会や花見<br>の会など) | その他 | 不 明 |
|-------|------|----------------------|------|---------------------|---|-----|-----|
| 49    | 41   | 1                    | 4    | 3                   | 2   | 1   | 4   |
| 100.0 | 83.7 | 2.0                  | 8.2  | 6.1                 | 4.1                                       | 2.0 | 8.2 |

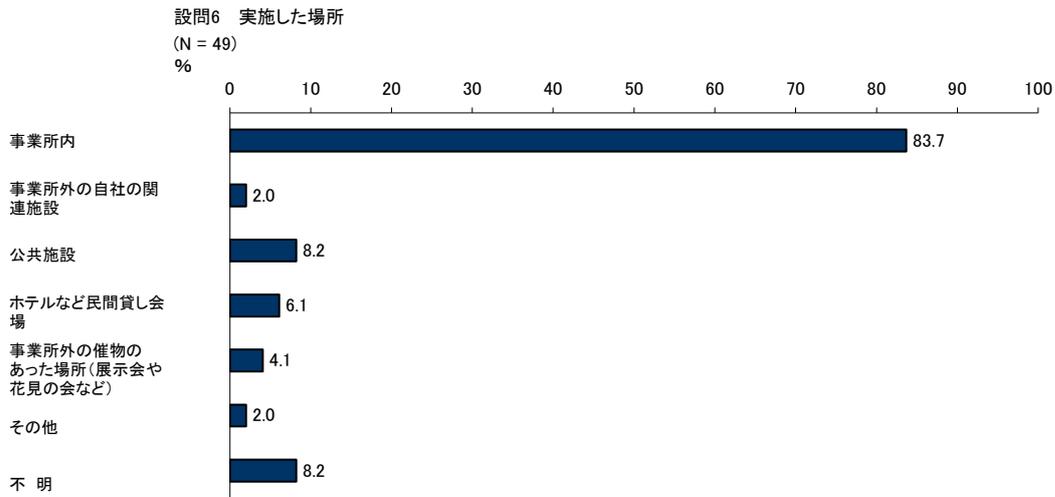


図 4. 4. 5 事業の実施場所

事業の開催場所については、8割以上が「事業所内」と回答しており、次いで「公共施設」(8.2%)、「不明」(8.2%)の順となっている。

#### 4. 4. 6 設問8 事業の主な対象者

表 4. 4. 6 事業の主な対象者

| サンプル数 | 近隣自治会役員 | 近隣住民 | 地元自治体担当課 | 市民団体などのNGO | 近隣の事業者 | 特に定めない | その他  | 不明  |
|-------|---------|------|----------|------------|--------|--------|------|-----|
| 49    | 32      | 22   | 18       | 6          | 13     | 2      | 13   | 4   |
| 100.0 | 65.3    | 44.9 | 36.7     | 12.2       | 26.5   | 4.1    | 26.5 | 8.2 |

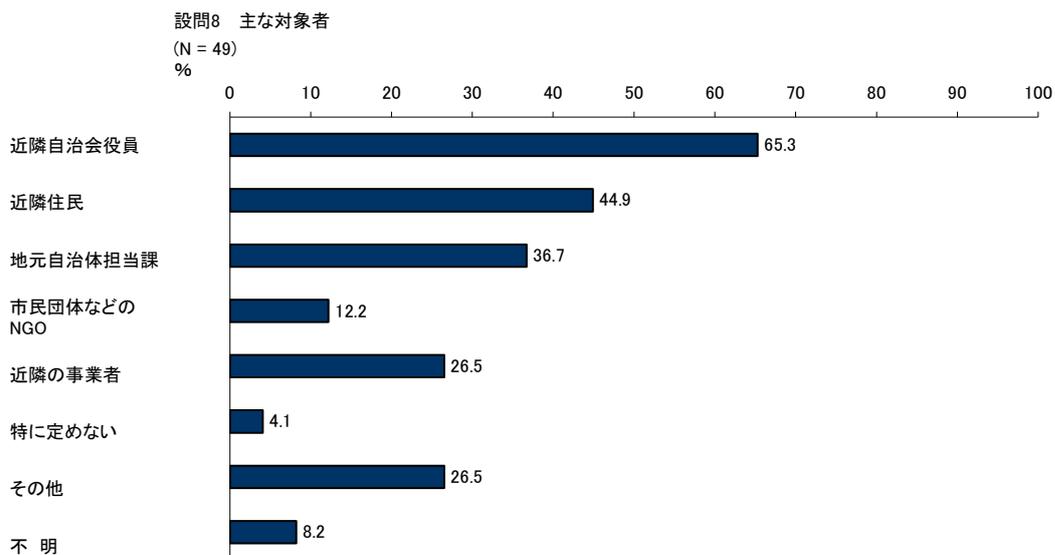


図 4. 4. 6 事業の主な対象者

事業の主な対象者については、「近隣自治会役員」が 65.3%と最も多く、次いで「近隣住民」(44.9%)、「地元自治体担当課」(36.7%) の順となっている。

4. 4. 7 設問9 当日の発言者・傍聴者の状況

表 4. 4. 7 当日の発言者・傍聴者の状況

| サンプル数 | 発言者、傍聴者とも一定のメンバーに限定した | 発言者は限定したが、傍聴者は一般参加を募った | 事前に広く参加を募り、参加者の発言の制限をしていない | 当日参加とし、参加者の発言も制限していない | その他  | 不明  |
|-------|-----------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------|------|-----|
| 49    | 13                    | 1                      | 19                         | 4                     | 12   | 4   |
| 100.0 | 26.5                  | 2.0                    | 38.8                       | 8.2                   | 24.5 | 8.2 |

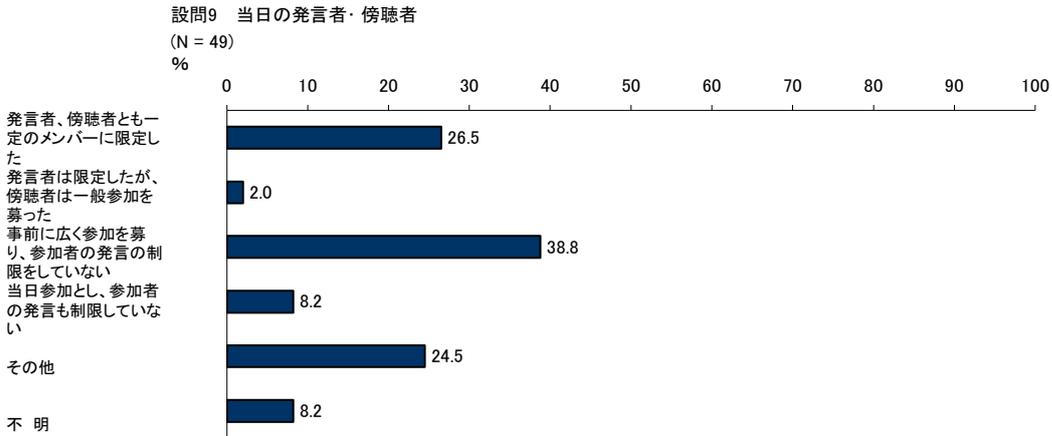


図 4. 4. 7 当日の発言者・傍聴者の状況

当日の発言者・傍聴者の状況については、「事前に広く参加を募り、参加者の発言の制限をしていない」が 38.8%と最も多く、次いで「発言者、傍聴者とも一定のメンバーに限定した」(26.5%)、「その他」(24.5%)の順となっている。

#### 4. 4. 8 設問10 事業の参加者人数

表 4. 4. 8 事業の参加者人数

| サンプル数 | 10人以下 | 11～30人 | 31～60人 | 61～100人 | 101人以上 | 不明   |
|-------|-------|--------|--------|---------|--------|------|
| 49    | 2     | 16     | 11     | 6       | 7      | 7    |
| 100.0 | 4.1   | 32.7   | 22.4   | 12.2    | 14.3   | 14.3 |

設問10 事業の参加者人数  
(N = 49)

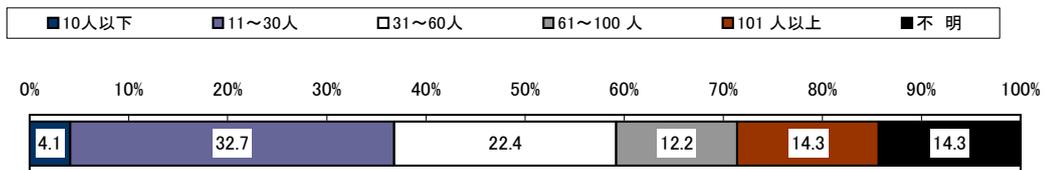


図 4. 4. 8 事業の参加者人数

事業の参加者人数については、「11～30人」が 32.7%と最も多く、次いで「31～60人」(22.4%)、「101人以上」(14.3%)、「不明」(14.3%)の順となっている。

4. 4. 9 設問 1 1 第三者への依頼状況及び依頼内容

表 4. 4. 9 - 1 第三者への依頼状況

| サンプル数 | 依頼した | 依頼していない | 不明  |
|-------|------|---------|-----|
| 49    | 7    | 39      | 3   |
| 100.0 | 14.3 | 79.6    | 6.1 |

設問11 事業の進行・情報提供の第三者への依頼状況 (N = 49)

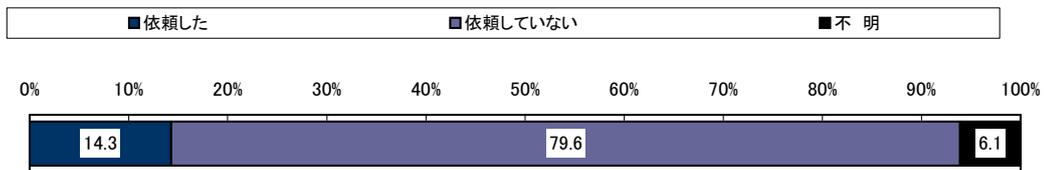


図 4. 4. 9 - 1 第三者への依頼状況

事業の進行・情報提供の第三者への依頼状況については、約 8 割の事業所が「依頼していない」と回答している。

表 4. 4. 9 - 2 第三者への依頼内容

| サンプル数 | 司会進行 (ファンリテータ) | 技術・科学的説明 (インタプリター) | 学識経験者等の基調講演 | その他 |
|-------|----------------|--------------------|-------------|-----|
| 7     | 6              | 1                  | 4           | -   |
| 100.0 | 85.7           | 14.3               | 57.1        | -   |

設問11 事業の進行・情報提供の第三者への依頼の内容 (N = 7)

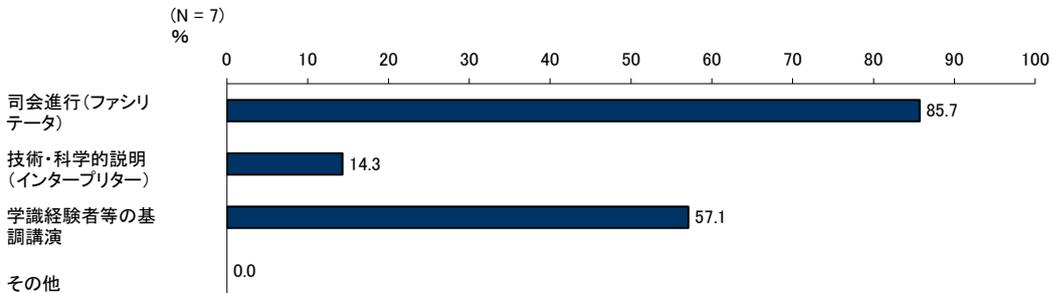


図 4. 4. 9 - 2 第三者への依頼内容

第三者に「依頼した」と回答のあった事業所における依頼内容については、「司会進行 (フ

アシリテータ)」が 85.7%と最も多く、次いで「学識経験者等の基調講演」(57.1%)、「技術・科学的説明(インタプリター)」(14.3%)の順となっている。

4. 4. 10 設問13 当日の経費（お茶代、会場費等）

表 4. 4. 10 当日の経費（お茶代、会場費等）

| サンプル数 | ゼロ  | 1万円以内 | 10万円以内 | 100万円以内 | 100万円を超える | 不明   |
|-------|-----|-------|--------|---------|-----------|------|
| 49    | 4   | 19    | 10     | 7       | -         | 9    |
| 100.0 | 8.2 | 38.8  | 20.4   | 14.3    | -         | 18.4 |

設問13 当日の経費（お茶代、会場費等）  
(N = 49)

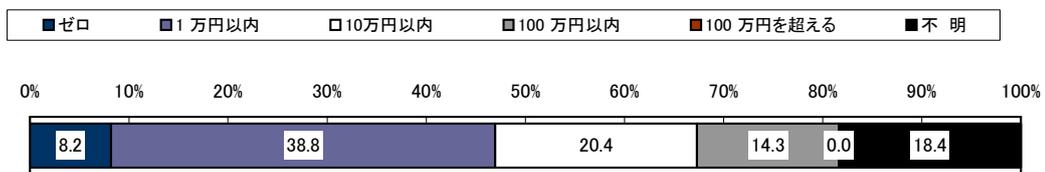


図 4. 4. 10 当日の経費（お茶代、会場費等）

当日の経費（お茶代、会場費等）については、「1万円以内」が38.8%と最も多く、次いで「10万円以内」（20.4%）、「不明」（18.4%）の順となっている。

#### 4. 4. 1 1 設問14 開催の告知方法

表 4. 4. 1 1 開催の告知方法

| サンプル数 | ホームページやチラシなど通常活用している自社のコマース手段 | 自治体の広報誌、ホームページ | 自治会長への連絡 | 近隣住民への戸別訪問(チラシの個別配布を含む) | 近隣自治会の回覧板 | 学校等への案内配布 | 近隣事業者への案内 | 事業者団体への案内 | その他  | 不明  |
|-------|-------------------------------|----------------|----------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|-----|
| 49    | 3                             | 3              | 31       | 3                       | 8         | 7         | 11        | 4         | 14   | 4   |
| 100.0 | 6.1                           | 6.1            | 63.3     | 6.1                     | 16.3      | 14.3      | 22.4      | 8.2       | 28.6 | 8.2 |

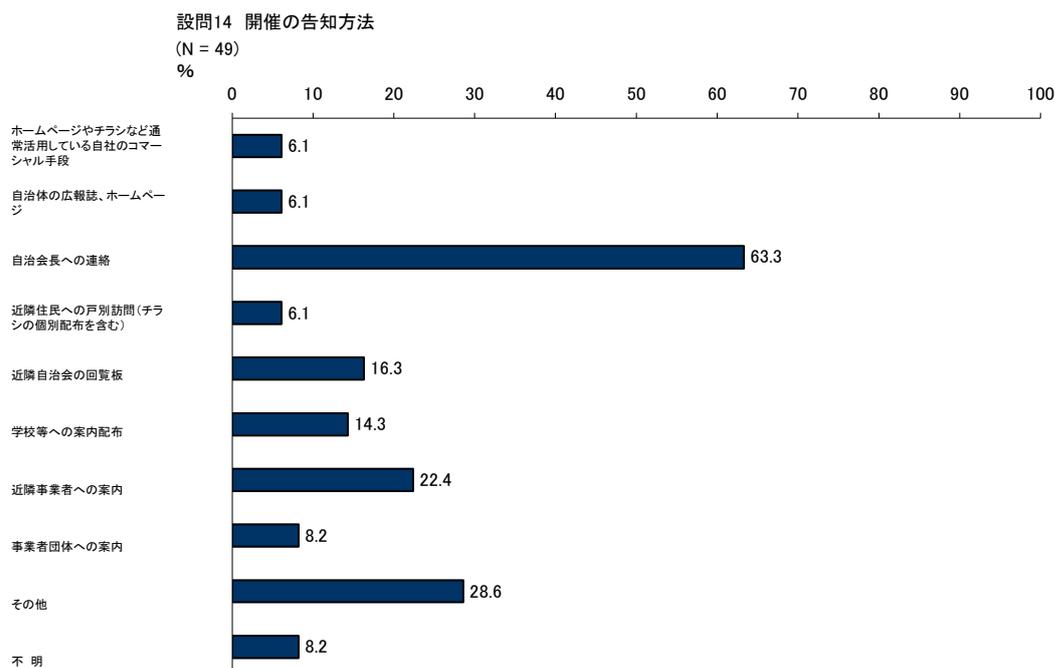


図 4. 4. 1 1 開催の告知方法

開催の告知方法については、「自治会長への連絡」が 63.3%と最も多く、次いで「その他」(28.6%)、「近隣事業者への案内」(22.4%)の順となっている。

4. 4. 12 設問15 説明した環境への取組内容

表 4. 4. 12 説明した環境への取組内容

| サンプル数       | 化学物質の排出量 (PRTR制度など) | 化学物質の管理状況 (消防法、毒劇法など) | 騒音、振動      | 臭気         | 敷地内の植栽や緑化  | 排水処理       | 地震など、災害時の対応 | 温暖化対策や省エネ対策 | 廃棄物対策      | その他        | 不明       |
|-------------|---------------------|-----------------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|----------|
| 49<br>100.0 | 31<br>63.3          | 24<br>49.0            | 22<br>44.9 | 22<br>44.9 | 12<br>24.5 | 32<br>65.3 | 15<br>30.6  | 39<br>79.6  | 40<br>81.6 | 12<br>24.5 | 3<br>6.1 |

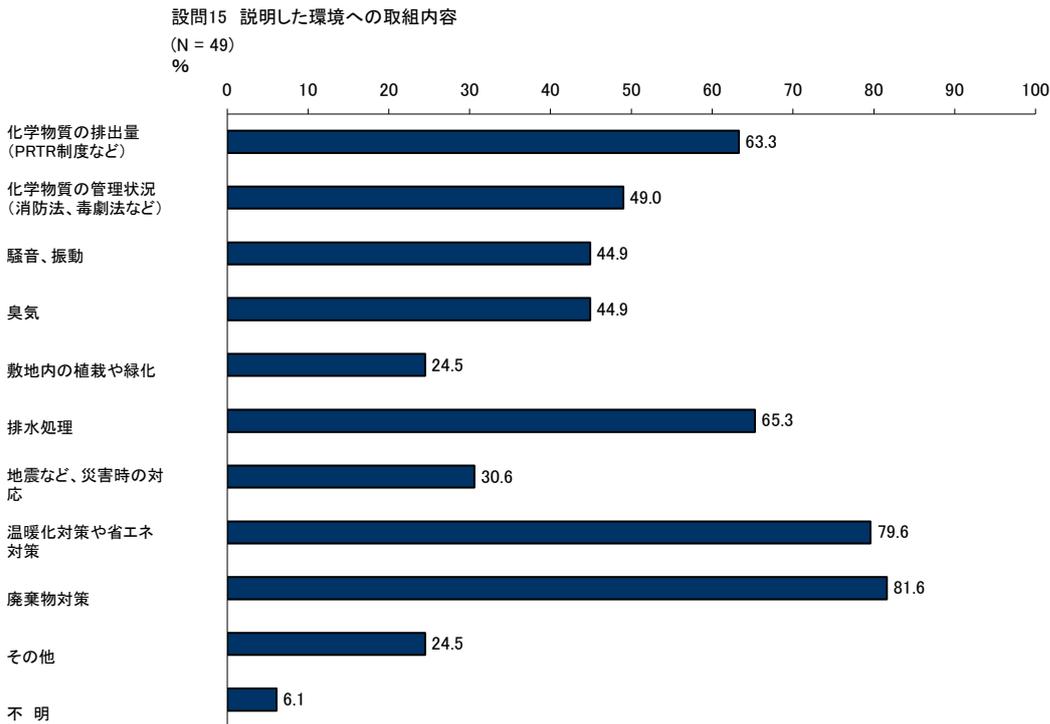


図 4. 4. 12 説明した環境への取組内容

説明した環境への取組内容については、「廃棄物対策」が81.6%と最も多く、次いで「温暖化対策や省エネ対策」(79.6%)、「排水処理」(65.3%)の順となっている。「化学物質の排出量 (PRTR 制度など)」及び「化学物質の管理状況 (消防法、毒劇法など)」を説明内容に含めた事業所は、半数前後となっている。

4. 4. 13 設問16 説明に対する質問内容

表 4. 4. 13 説明に対する質問内容

| サンプル数 | 化学物質の排出量 (PRTR制度など) | 化学物質の管理状況 (消防法、毒劇法など) | 騒音   | 臭気   | 敷地内の植栽や緑化 | 排水処理 | 地震、災害時の対応 | 温暖化対策や省エネ対策 | 廃棄物対策 | 通勤時等の従業員マナー | 荷卸、工事車両等の交通マナー | その他  | 不明  |
|-------|---------------------|-----------------------|------|------|-----------|------|-----------|-------------|-------|-------------|----------------|------|-----|
| 49    | 12                  | 8                     | 8    | 13   | 5         | 14   | 11        | 23          | 14    | 5           | 2              | 14   | 4   |
| 100.0 | 24.5                | 16.3                  | 16.3 | 26.5 | 10.2      | 28.6 | 22.4      | 46.9        | 28.6  | 10.2        | 4.1            | 28.6 | 8.2 |

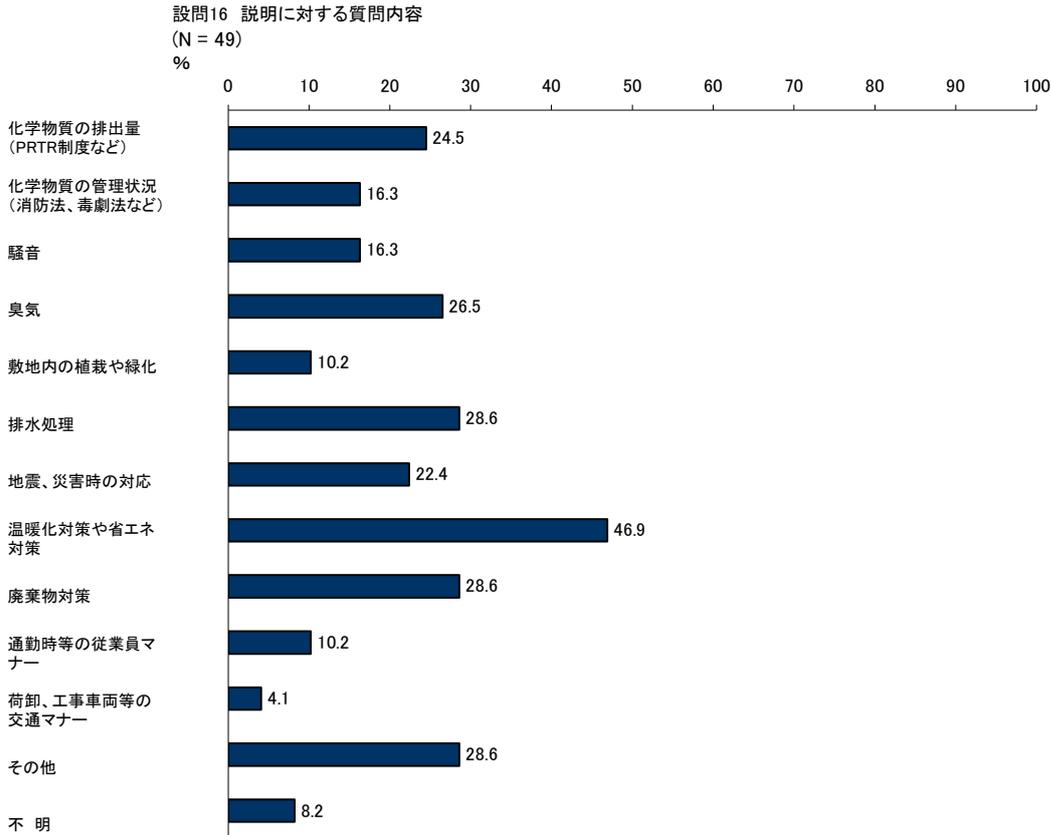


図 4. 4. 13 説明に対する質問内容

説明に対する質問内容については、「温暖化対策や省エネ対策」が 46.9%と最も多く、次いで「廃棄物対策」(28.6%)、「その他」(28.6%) の順となっている。「化学物質の排出量 (PRTR 制度など)」及び「化学物質の管理状況 (消防法、毒劇法など)」に関する質問のあった事業所は、2 割程度である。

4. 4. 14 設問17 参加者に対するアンケートの実施状況

表4. 4. 14-1 参加者に対するアンケートの実施状況【実施前】

| サンプル数 | 実施した | 実施していない | 不明   |
|-------|------|---------|------|
| 49    | 5    | 38      | 6    |
| 100.0 | 10.2 | 77.6    | 12.2 |

設問17 参加者に対するアンケートの実施【実施前】  
(N = 49)

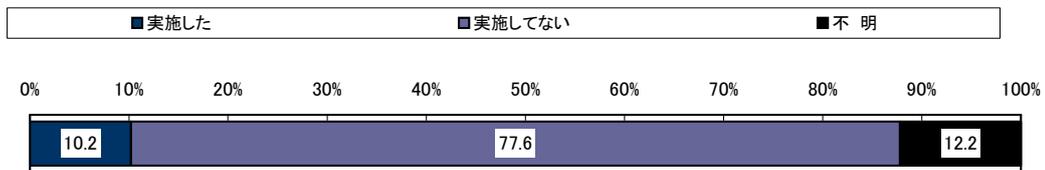


図4. 4. 14-1 参加者に対するアンケートの実施状況【実施前】

表4. 4. 14-2 参加者に対するアンケートの実施状況【終了時】

| サンプル数 | 実施した | 実施していない | 不明  |
|-------|------|---------|-----|
| 49    | 20   | 26      | 3   |
| 100.0 | 40.8 | 53.1    | 6.1 |

設問17 参加者に対するアンケートの実施【終了時】  
(N = 49)

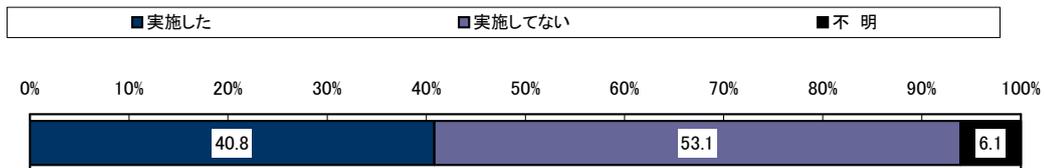


図4. 4. 14-2 参加者に対するアンケートの実施状況【終了時】

参加者に対するアンケートの実施状況については、実施前については、8割弱の事業所が「実施していない」と回答している。また、終了時については、4割強の事業者が「実施した」と回答している。

4. 4. 15 設問18 参加者に対する事前勉強会等の実施状況

表 4. 4. 15 参加者に対する事前勉強会等の実施状況

| サンプル数 | 実施した | 実施していない | 不明   |
|-------|------|---------|------|
| 49    | 2    | 42      | 5    |
| 100.0 | 4.1  | 85.7    | 10.2 |

設問18 参加者に対するリスクコミュニケーションや化学物質についての事前勉強会等の実施 (N = 49)

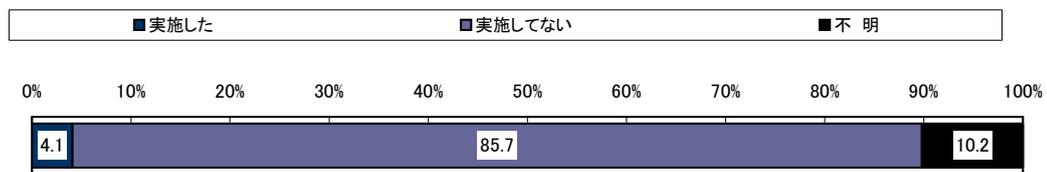


図 4. 4. 15 参加者に対する事前勉強会等の実施状況

参加者に対する事前勉強会等の実施状況については、8割以上の事業所が「実施していない」と回答している。

4. 4. 16 設問19 リスクコミュニケーション事業実施の公表有無／公表方法

表 4. 4. 16-1 リスクコミュニケーション事業実施の公表有無

| サンプル数 | 実施した | 実施してない | これからする予定 | 不明  |
|-------|------|--------|----------|-----|
| 49    | 35   | 4      | 6        | 4   |
| 100.0 | 71.4 | 8.2    | 12.2     | 8.2 |

設問19 リスクコミュニケーション事業の実施の公表の有無 (N = 49)

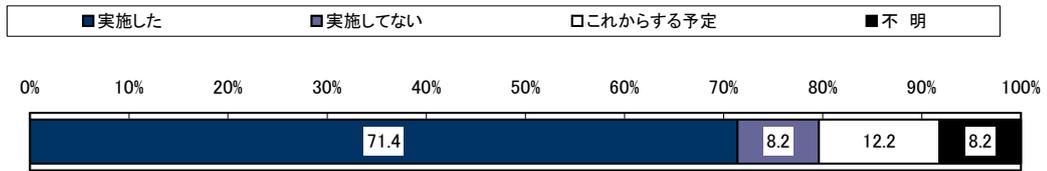


図 4. 4. 16-1 リスクコミュニケーション事業実施の公表有無

リスクコミュニケーション事業実施の公表有無については、7割以上の事業所が「実施した」と回答しており、「これからする予定」をあわせると、8割を超える。

表 4. 4. 16-2 リスクコミュニケーション事業実施の公表方法（実施したのみ）

| サンプル数 | HPや環境報告書等で公表 | 行政のHP等に掲載 | その他  |
|-------|--------------|-----------|------|
| 35    | 32           | -         | 6    |
| 100.0 | 91.4         | -         | 17.1 |

設問19 リスクコミュニケーション事業の実施の公表方法(実施した場合)

(N = 35)

%

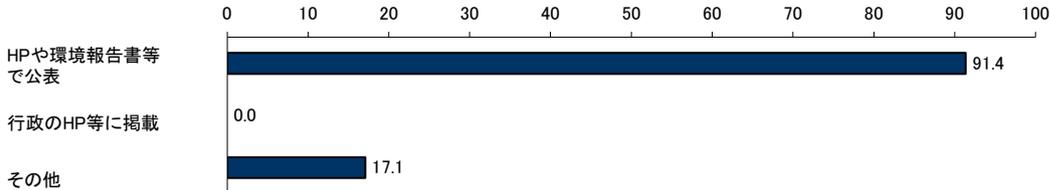


図 4. 4. 16-2 リスクコミュニケーション事業実施の公表方法（実施したのみ）

すでにリスクコミュニケーション事業実施の公表を「実施した」と回答のあった事業所における実施方法については、9割以上が「HPや環境報告書等で公表」となっている。

表 4. 4. 16-2 リスクコミュニケーション事業実施の公表方法（これからする予定）

| サンプル数 | HPや環境報告書等で公表 | 行政のHP等に掲載 | その他  |
|-------|--------------|-----------|------|
| 6     | 4            | 1         | 1    |
| 100.0 | 66.7         | 16.7      | 16.7 |

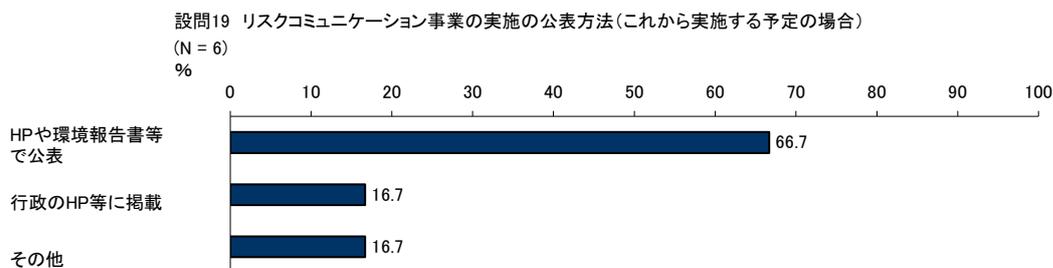


図 4. 4. 16-2 リスクコミュニケーション事業実施の公表方法（これからする予定）

リスクコミュニケーション事業実施の公表を「これからする予定」と回答のあった事業所における実施方法については、「HP や環境報告書等で公表」が 66.7%と最も多く、次いで「行政の HP 等に掲載」（16.7%）、「その他」（16.7%）の順となっている。

4. 4. 17 設問21 詳細調査への協力可否

表 4. 4. 17 詳細調査への協力可否

| サンプル数 | 協力できる | 協力できない | 不明   |
|-------|-------|--------|------|
| 49    | 38    | 6      | 5    |
| 100.0 | 77.6  | 12.2   | 10.2 |

設問21 詳しい状況のお尋ねの協力意向  
(N = 49)

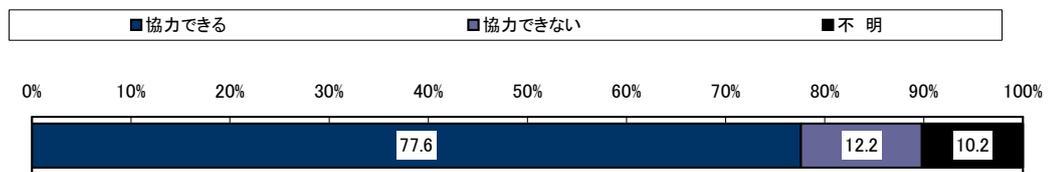


図 4. 4. 17 詳細調査への協力可否

詳細調査への協力可否については、8割弱の事業所が「協力できる」となっている。

4. 4. 18 設問22 リスクコミュニケーション事業を実施しなかった理由

表4. 4. 18 リスクコミュニケーション事業を実施しなかった理由

| サンプル数 | 地域住民のニーズを感じない | 地域住民等が過剰に反応することへの不安 | 人や時間等のコストがかかるため | 継続するには、話題が無いため | 企業としてのメリットが見えないため | 同業者や同じ工業団地内の企業がやっていないため | 諸般の事情でできなかった(天災、会社の統廃合等) | その他  |
|-------|---------------|---------------------|-----------------|----------------|-------------------|-------------------------|--------------------------|------|
| 15    | 8             | 1                   | 1               | 4              | 1                 | 1                       | 1                        | 6    |
| 100.0 | 53.3          | 6.7                 | 6.7             | 26.7           | 6.7               | 6.7                     | 6.7                      | 40.0 |

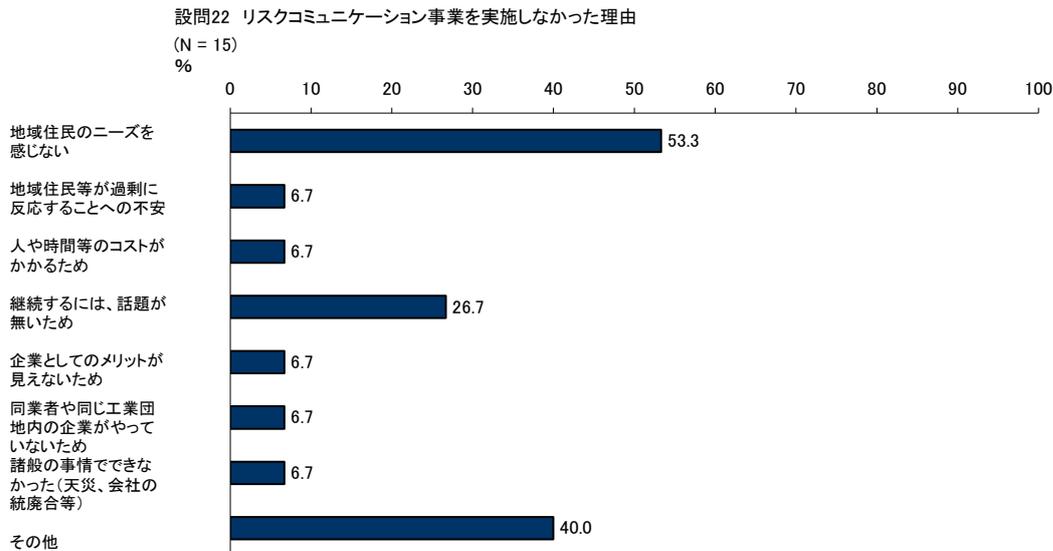


図4. 4. 18 リスクコミュニケーション事業を実施しなかった理由

リスクコミュニケーション事業を実施しなかった事業所について、実施しなかった理由としては、「地域住民のニーズを感じない」が53.3%と最も多く、次いで「その他」(40.0%)、「継続するには、話題が無いため」(26.7%)の順となっている。

4. 4. 19 設問23 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定／予定時期

表4. 4. 19-1 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定

| サンプル数 | 実施しない | 現在は難しいが環境がそろえば実施したい | 実施できるが今のところ予定は無い | 実施する予定がある |
|-------|-------|---------------------|------------------|-----------|
| 15    | 4     | 4                   | 4                | 3         |
| 100.0 | 26.7  | 26.7                | 26.7             | 20.0      |

設問23 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定  
(N = 15)

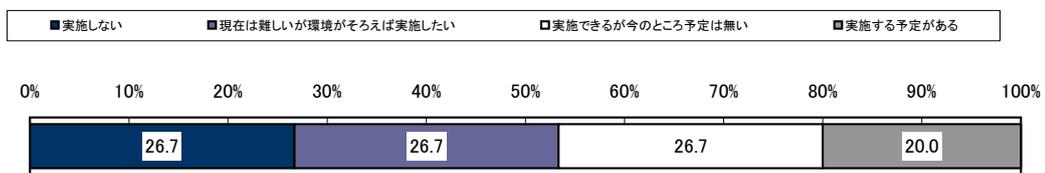


図4. 4. 19-1 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定

今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定については、「実施しない」、「現在は難しいが環境がそろえば実施したい」、「実施できるが今のところ予定は無い」が同率 (26.7%) で最も多くなっている。

表4. 4. 19-2 今後のリスクコミュニケーション事業の予定時期

| サンプル数 | 実施時期は未定 | 実施時期は決定 |
|-------|---------|---------|
| 3     | 1       | 2       |
| 100.0 | 33.3    | 66.7    |

設問23 今後のリスクコミュニケーション事業の実施予定時期  
(N = 3)

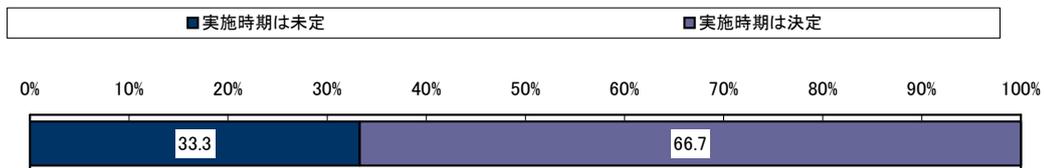


図4. 4. 19-2 今後のリスクコミュニケーション事業の予定時期

今後のリスクコミュニケーション事業について「実施する予定がある」と回答した事業所における予定時期については、7割弱の事業所が「実施時期は決定」となっている。

4. 4. 20 設問24 環境報告書の作成状況

表 4. 4. 20 環境報告書の作成状況

| サンプル数 | 作成している | 作成していない | 不明  |
|-------|--------|---------|-----|
| 64    | 62     | 1       | 1   |
| 100.0 | 96.9   | 1.6     | 1.6 |

設問24 環境報告書の作成状況  
(N = 64)

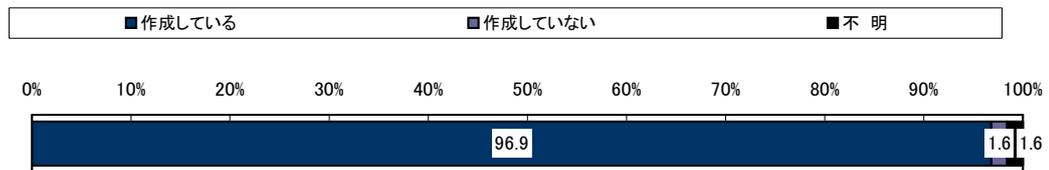


図 4. 4. 20 環境報告書の作成状況

環境報告書の作成状況については、9割以上の事業所が「作成している」となっている。

4. 4. 2 1 設問 2 5 PRTR 制度の届出対象／環境報告書への記載

表 4. 4. 2 1 PRTR 制度の届出対象／環境報告書への記載

| サンプル数 | 対象物質を取り扱い・排出しており、記載している | 対象物質を取り扱い・排出しているが、記載していない | 対象物質の取り扱い・排出がないので、記載していない | 不明  |
|-------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|-----|
| 62    | 54                      | 2                         | 4                         | 2   |
| 100.0 | 87.1                    | 3.2                       | 6.5                       | 3.2 |

設問25 PRTR制度の届出対象か そのデータは環境報告書で公開しているか  
(N = 62)

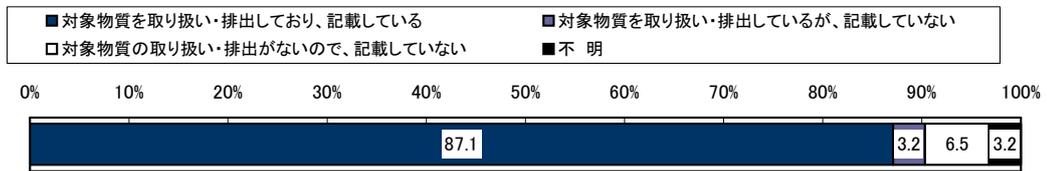


図 4. 4. 2 1 PRTR 制度の届出対象／環境報告書への記載

PRTR の届け出対象及び環境報告書への記載については、「対象物質を取り扱い・排出しており、記載している」及び「対象物質を取り扱い・排出しているが、記載していない」の合計が 9 割以上となっており、ほとんどの事業所が対象物質を取り扱い・排出していることが伺える。また、対象物質を取り扱い・排出している事業所のうち、環境報告書へ記載している事業所は 87.1%となっている。

4. 4. 2 2 設問26 環境報告書等を用いた PRTR 対象物質等の説明

表 4. 4. 2 2 環境報告書等を用いた PRTR 対象物質等の説明

| サンプル数       | 従業員に環境報告書を使用して PRTR 対象物質について何らかの説明をしている | 従業員に環境報告書を渡している (渡すだけで説明はしていない) | 工場見学時に環境報告書中の PRTR 対象物質について何らかの説明をしている | 工場見学時に環境報告書を渡している (渡すだけで説明はしていない) | リスクコミュニケーションの場で環境報告書を使用して PRTR 対象物質について説明をしている | その他の時に環境報告書を使用して PRTR 対象物質について何らかの説明をしている | 不明       |
|-------------|---|---------------------------------|--|-----------------------------------|--|---|----------|
| 62<br>100.0 | 30<br>48.4                              | 18<br>29.0                      | 24<br>38.7                             | 17<br>27.4                        | 24<br>38.7                                     | 4<br>6.5                                  | 6<br>9.7 |

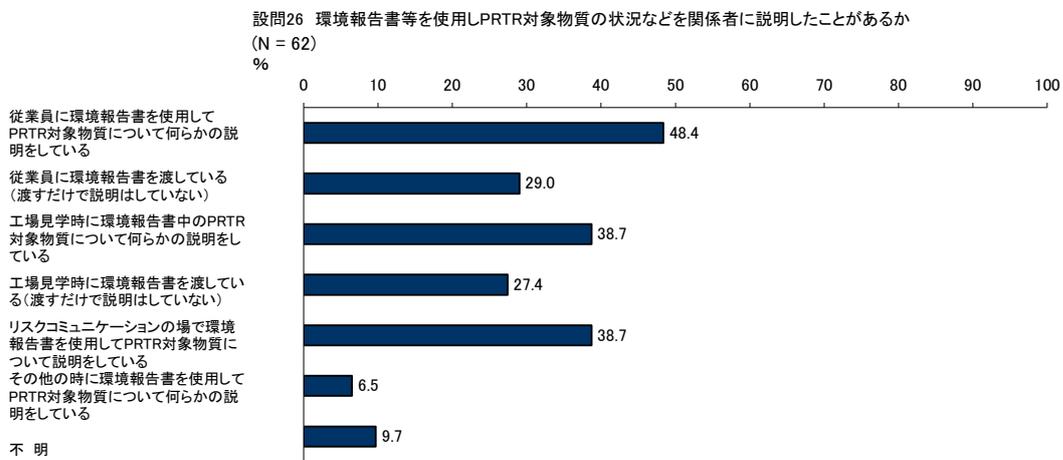


図 4. 4. 2 2 環境報告書等を用いた PRTR 対象物質等の説明

環境報告書等を用いた PRTR 対象物質等の説明については、「従業員に環境報告書を使用して PRTR 対象物質について何らかの説明をしている」が 48.4%と最も多く、次いで「工場見学時に環境報告書中の PRTR 対象物質について何らかの説明をしている」(38.7%)、「リスクコミュニケーションの場で環境報告書を使用して PRTR 対象物質について説明をしている」(38.7%) の順となっている。

## 5. 詳細調査について

詳細調査への協力を受諾いただいた事業所、または、アンケート調査から化学物質管理センター殿から提示を受けた特徴的なリスクコミと思われる事例について 5 箇所、訪問調査等を行った。

詳細調査の対象事業所はデータを集約の後、担当者殿と協議の上選出した。詳細調査の内容を以下に示す。

### 5. 1 三菱レイヨン株式会社 富山事業所殿

三菱レイヨン株式会社 富山事業所殿のヒアリング結果を表 5. 1 に示す。

表 5. 1 ヒアリング結果（三菱レイヨン株式会社 富山事業所殿）

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
| 設問 2 | アンケート | ・ 7. 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など（子供向け）   |
|      | ヒアリング | ・ 納涼祭（8. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動等）に該当）を2年に1度開催しているが、2008年度は開催しなかった。<br>・ 工場見学は、採用活動と地元への情報開示のためのもので、年間300人程度である。 |
| 設問 4 | アンケート | 1. 当社（事業所）   |
|      | ヒアリング | ・ 富山事業所が主体となって実施した。<br>・ 一部の実験項目（LEDで光の進み具合を探ろう！）について、今年度はじめて取り入れたため、本社から説明要員の支援を得た。                         |
| 設問 5 | アンケート | 1. 定期的（b. 毎年）  |
|      | ヒアリング | ・ 2000年度くらいからリスクコミュニケーションに関する催し物を実施している。<br>・ 当初は、春と秋の年2回開催していたが、参加者数の減少等により、現在は秋のみ開催している。                   |
| 設問 6 | アンケート | 1. 事業所内  |
|      | ヒアリング | ・ 見学コースは主力製品と安全確保等の問題から、ほぼ決まっている（カロラン・トウ製造区域、アクリライト製造区域、動力センター）。   |
| 設問 7 | アンケート | 2008年11月22日（土曜日）9時～12時20分  |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験ショーは、「高分子凝集剤を用いた実験」と「光の進み具合を探る実験」の2つ実施した。</li> <li>・6人1グループとして、グループごとに実験を行った。</li> <li>・「高分子凝集剤を用いた実験」では、1テーブルに数個ビーカーを置き、ダイヤブロックの添加から参加者に体験してもらった。</li> <li>・「光の進み具合を探る実験」では、参加者自らLEDライトを照らすなど、実験に参加してもらった。</li> <li>・また、ソアロン（繊維）を使った衣装（別途当社が支援しているコンクールで入選したものを5着程度、東京にある文化学園から貸与を受け、展示した。</li> </ul>   |
| 設問8  | アンケート | 2. 近隣住民  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市立北部中学校のPTA（保護者、教師、生徒）を対象とした事業である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは、工場近隣の16町内会を対象に、1回につき4町内会ずつ、各町内会5人までの参加として、町内会長経由で参加者を募り、工場見学を行っていた。</li> </ul> </li> <li>・町内会が一巡した後は、参加人数及び町内会の制限をせずに、これまでと同様に町内会長経由で参加者を募ったが、参加者数が10名程度まで減少した。（MAX 30～40名）</li> <li>・そのような状況の中で、昨年度、隣接中学校のPTAから工場見学を行いたい旨の連絡を受け、対応した。</li> <li>・今年度は、昨年度の実績をもとに再度富山市立北部中学校のPTA関係者から、昨年度と同様な工場見学を行いたい旨の連絡を受け、対応した。</li> </ul> |
| 設問9  | アンケート | 5. その他（中学校に依頼。発言の制限なし。）  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を事前に募ったため、当日の参加者はいなかった。</li> </ul>  |
| 設問10 | アンケート | 3. 31～60人（貴所：22人、対象者：34人）  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴所の内訳は、ロジ関係：3名程度、事業概要等の説明者：3名程度、実験ショー対応：15名程度、工場見学時の説明者：6名程度である（兼務している要員がいるため、22人に一致しない）。</li> <li>・対象者の内訳は、保護者：18名、教師：2名、生徒：14名である。</li> </ul>  |
| 設問12 | アンケート | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者：1名、準備約1ヶ月</li> </ul>   |

| 設問番号   | 確認方法  | 回答内容   |
|--------|-------|--|
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者は、松井様ご自身のことを指している。</li> <li>・準備は、もっぱら関係者との調整、実験等の資材調達であった。</li> </ul>   |
| 設問 1 3 | アンケート | 2. 1万円以内   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶（自社製品である天然多糖類が含まれるもの）代のみである。</li> <li>・参加者への手土産として、ますの寿司を配布したが、今回の回答には含んでいない。</li> <li>・また、東京からの支援要員の交通費等についても、今回の回答には含んでいない。</li> </ul> |
| 設問 1 4 | アンケート | 6. 学校等への案内配布   |
|        | ヒアリング | ・PTAからの依頼を受けて、回答する形で開催のお知らせを行った。   |
| 設問 1 5 | アンケート | 1. 化学物質の排出量（P R T R制度など）<br>3. 騒音、振動<br>4. 臭気<br>6. 排水処理<br>7. 地震など、災害時の対応<br>8. 温暖化対策や省エネ対策<br>9. 廃棄物処理   |
|        | ヒアリング | ・CSR報告書に記載されている図表等をもとに、排出物質、排出量、排出基準値、化学物質の排出に係る自社の取り組みについて、パワーポイントで説明した。  |
| 設問 1 9 | アンケート | 1. 実施した（a. HPや環境報告書等で公表）   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社における取り組みは、毎年CSR報告書に記載されている。</li> <li>・今年9月に発表される予定のCSR報告書において、今回の取り組みが掲載される可能性がある。</li> </ul>  |
| 設問 2 3 | アンケート | 1. 実施する予定がある（b. 11月あたりに実施しようと考えている）  |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市立北部中学校のPTA関係者から、来年度も実施してほしい旨の話を聞いているので、今年度も、依頼があれば対応したい。</li> <li>・開催時期は、PTAの年間行事でもあるため、流動的ではあるが、11月頃になるのではないかと考えている。</li> </ul>        |
| その他    | ヒアリング | ・リスクコミュニケーションに係る情報は、事業所間では共有しているが、他社の動向はほとんど把握していない。   |

## 5. 2 日立化成工業株式会社 五所宮事業所殿

日立化成工業株式会社 五所宮事業所殿のヒアリング結果を表5. 2に示す。

表5. 2 ヒアリング結果（日立化成工業株式会社 五所宮事業所殿）

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
| 設問2  | アンケート | 1. 地域説明会・対話集会<br>4. 工場見学会（一般市民向け）<br>5. 環境報告書を読む会<br>8. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動等）   |
|      | ヒアリング | ・最も主要な形式は、「1. 地域説明会・対話集会」である。<br>・アンケートでは、「地域住民の皆様との事業所見学会」の内容に該当するものを回答した。<br>・リスクコミュニケーションには直接関わらないが、「桜まつり」（「8. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動等）」に該当）や主に小学生向けの工場見学（「4. 工場見学会（一般市民向け）」に該当）も行っている。 |
| 設問4  | アンケート | 1. 当社（事業所）  |
|      | ヒアリング | ・本社からの指示もあるが、事業所が主体となって実施している。  |
| 設問5  | アンケート | 1. 定期的（b. 毎年）   |
|      | ヒアリング | ・「桜まつり」は、数十年にわたり定期的実施している。<br>・工場見学は、依頼があった場合に随時対応している。<br>・「地域住民の皆様との事業所見学会」は、これまでも不定期に行っていたが、リスクコミュニケーションの内容を含めたかたちになってから、6年経つ。   |
| 設問6  | アンケート | 1. 事業所内   |
|      | ヒアリング | ・各種取組みに係る説明は、事業所内の打合せスペース等で行っている。<br>・工場見学は、事業所内の各製造ライン単位で行っており、1年単位程度での持ち回りとしている。<br>・具体的な見学コースは、安全面の問題等を勘案し、各製造ラインの判断により決定している。   |
| 設問7  | アンケート | 2009年2月5日（木曜日）10時～12時30分  |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所長挨拶、事業所概要説明（ビデオ）、環境に対する取組みの説明、工場見学（場所により着替え要）、昼食、質疑応答といった流れである。</li> <li>・ 環境に対する取組みの説明は、約20分程度である。</li> </ul>   |
| 設問8  | アンケート | 1. 近隣自治会役員<br>3. 地元自治体担当課（案内したが不参加）<br>7. その他（近隣の小学校長、公民館長）  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場に隣接する自治会を主な対象とし、近隣の小学校長、地元自治体担当者にも参加を募った。</li> </ul>  |
| 設問9  | アンケート | 5. その他（参加者は限定。発言は自由。）  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に募った参加者の中から、自由に質問を受け付けた。</li> <li>・ 当日参加は受け付けなかった。</li> </ul>   |
| 設問10 | アンケート | 1. 10人以下（貴所：4人、対象者：7人）   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴所の内訳は、工場見学時の対応要員数を除く、当日対応した要員数である。</li> <li>・ 対象者の内訳は、公民館長（1名）、地元小学校長（1名）、地元自治会委員（5名）である。</li> </ul>   |
| 設問12 | アンケート | ・ 担当者：2名、準備：1週間  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備として、環境に対する取組みの説明時に使用する事業所独自の環境レポートの作成及び事業所内外との調整を行った。</li> <li>・ 事業所独自の環境レポートは、「地域住民の皆様との事業所見学会」時に配布する目的で作成しているといつてよい。毎年発行することに意義があると考え、一般的な環境報告書の構成に即して作成しているが、10ページ程度の構成としている。また、事業所のトピック（ネガティブ情報含む）を含めている点が特徴である。</li> </ul> |
| 設問13 | アンケート | 2. 10万円以内  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経費の内訳は、ほとんどが昼食代（飲料代含む）である。</li> </ul>   |
| 設問14 | アンケート | 3. 自治会長への連絡<br>4. 近隣住民への戸別訪問（チラシの個別配布を含む）<br>6. 学校等への案内配布  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館長の仲介により自治会長への案内を行い、地元自治会役員の出席調整を行っていただいた。</li> <li>・ 地元自治体担当者及び小学校長には、直接案内を行った。</li> </ul>   |

| 設問番号   | 確認方法  | 回答内容  |
|--------|-------|---|
| 設問 1 5 | アンケート | 1. 化学物質の排出量（P R T R制度など）<br>2. 化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）<br>3. 騒音、振動<br>4. 臭気<br>6. 排水処理<br>7. 地震など、災害時の対応<br>8. 温暖化対策や省エネ対策<br>9. 廃棄物対策                   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質の排出量（P R T R制度など）及び化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）は、事業所独自の環境レポートを配布し、その内容をもとに説明した。</li> </ul>                         |
| 設問 1 6 | アンケート | 6. 排水処理（雨水調整池堤防工事中のため、質問というより要望有り）  |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は、「6. 排水処理」に係わる要望を受けたが、例年は身近な質問（朝夕の交通量の問題など）を受けることが多い。</li> </ul>   |
| 設問 1 9 | アンケート | 3. これからする予定（c. その他（事業所内新聞））   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所外へは、事業所独自で積極的に報告を行っていない。</li> <li>事業所の取組みは本社へ報告を行っており、本社で発行している「社会的責任報告書」により社外にP Rする。</li> </ul>            |
| 設問 2 3 | アンケート | 回答なし  |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>「4. 実施する予定がある（b. 実施時期は決定（1 1月あたりに実施しようと考えている）」が該当する。</li> <li>昨年度は、様々な理由により2月に開催したが、例年は1 1月に開催している。</li> </ul> |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
| その他  | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の取組みは、本社での関係部署メンバーでの会議等では周知されるが、事業所間での積極的な情報交換は行っていない。</li> <li>本業務の担当者が、下館事業所の業務を兼務していることから、下館事業所の取組みは把握している。</li> <li>地域住民の方との信頼関係構築のためにリスクコミュニケーション事業を実施しており、事業内容は、地域住民の方の反応をもとに改善しているが、その際、他社の動向までは確認していない。</li> <li>また、上記のような理由から、事業の進行や情報提供を第三者に依頼する必要性を感じていないため、第三者への依頼を行っていない。</li> <li>2003年度に初めて事業所独自にリスクコミュニケーションを実施。初年度は本社環境報告書をもとに行ったが、次年度以降、事業所環境レポートは、オリジナルな構成で作成、更新されている。</li> </ul> |

### 5. 3 シャープ株式会社 三重工場殿

シャープ株式会社 三重工場殿のヒアリング結果を表5. 3に示す。

表5. 3 ヒアリング結果（シャープ株式会社 三重工場殿）

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
| 設問3  | アンケート | シャープふれあいフェスタでの工場見学会（一般市民向）   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>シャープふれあいフェスタとは別に、地元小学校、中学校及び高校を対象とした様々な環境に係る取組みも3年前から実施している。</li> <li>地元小学校、中学校及び高校を対象とした取組みの中で、リスクコミュニケーションに係る説明も随時行っている。</li> </ul> |
| 設問4  | アンケート | 1. 当社（事業所）   |
|      | ヒアリング | ・本社からの指示もあるが、事業所が主体となって実施している。   |
| 設問5  | アンケート | 1. 定期的（b. 毎年）  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>シャープふれあいフェスタは、10年以上実施している。</li> <li>4年前まで、技術情報の漏えいの防止の観点から、多気町文化会館で実施していたが、3年前より工場内で実施している。</li> </ul>                                |
| 設問6  | アンケート | 1. 事業所内  |

| 設問番号  | 確認方法  | 回答内容  |
|-------|-------|---|
|       | ヒアリング | ・一般的な見学ルートとほぼ類似のルートを案内した。   |
| 設問 7  | アンケート | ① 2008年6月7日（土曜日）10時～15時（工場見学随時）   |
|       | ヒアリング | ・見学希望者は、フェスタ当日に募った。<br>・1時間4グループとして、1グループあたり20人を2、3人が誘導する形で工場内を見学した。<br>・見学はおよそ30分程度で、見学後に10分程度の意見交換会を実施した。   |
| 設問 8  | アンケート | 2. 近隣住民   |
|       | ヒアリング | ・シャープふれあいフェスタは、工場近隣の住民（多気町+松阪市の一部）を対象としたイベントのため、工場見学会についても近隣住民が対象となった。  |
| 設問 9  | アンケート | 4. 当日参加とし、参加者の発言の制限をしていない   |
|       | ヒアリング | ・参加者からの発言は制限せず、見学時及び見学後の意見交換会時に随時質問を受け付けた。  |
| 設問 11 | アンケート | 2. 依頼していない  |
|       | ヒアリング | ・これまでも、第三者に事業の進行や情報提供を依頼した実績はない。  |
| 設問 12 | アンケート | ・見学担当4人を選任して1ヶ月より準備   |
|       | ヒアリング | ・フェスタの運営とは別に、見学専任の担当者を4人選任した。<br>・準備として、見学コースの検討、見学時間の検討、見学者の受付方法の検討等を行った。  |
| 設問 13 | アンケート | 1. ゼロ   |
|       | ヒアリング | ・フェスタとしての経費は別途計上しているため、経費はゼロとなっている。   |
| 設問 14 | アンケート | 9. その他（新聞折込チラシ）   |
|       | ヒアリング | ・フェスタ当日に、多気町及び松阪市の一部（工場近隣の地区）の地域の新聞にフェスタ開催の折り込みチラシを配布する形でお知らせした。毎年、6月の第一土曜日に開催しており、地元の方は開催日程の推測がつくため、事前のお知らせを行っていない。<br>・HPでの事前のお知らせは行っていないが、多気町には事前に開催日程を連絡しているため、町を通じて開催日程を知っている方もいる。 |

| 設問番号  | 確認方法  | 回答内容  |
|-------|-------|---|
| 設問 15 | アンケート | 1. 化学物質の排出量（P R T R制度など）<br>2. 化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）<br>4. 臭気<br>6. 排水処理<br>8. 温暖化対策や省エネ対策<br>9. 廃棄物対策   |
|       | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の排出量や管理状況は、工場見学ルートの一画にパネルを設置して、当該パネルを用いて参加者に説明している。</li> <li>・あわせて、環境・社会貢献活動情報誌2008を配布し、自社の取組みを紹介している。</li> </ul> |
| 設問 16 | アンケート | 4. 臭気<br>10. 通勤時等の従業員マナー  |
|       | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学時に質問のあった項目は、精査したうえで、必要に応じて次年度の「環境・社会貢献活動情報誌」に取りまとめて掲載している。</li> </ul>   |
| 設問 19 | アンケート | 1. 実施した（a. HPや環境報告書等で公表）  |
|       | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(株) シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌」により社外にPRする。</li> </ul>   |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
| その他  | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の取組みは、本社での関係部署メンバーでの会議等で周知され、必要に応じてフェスタへの内容に反映させている。</li> <li>・「シャープ（株）三重工場 環境・社会貢献活動情報誌」は、2004年に本社からの指示により初めて作成し、以後は事業所が中心となって改訂し、2008年度で5年目を迎えた。</li> <li>・「シャープ（株）三重工場 環境・社会貢献活動情報誌」は、地元の方に自社の取組みを知ってもらうことが重要との認識のもと作成しているため、記載内容については必ずしも環境報告書等のガイドラインには沿っていない。</li> <li>・地元小学校、中学校及び高校を対象とした取組みは、3年前から実施しており、当初は小学校及び中学校を対象としていたが、随時対象を広げて、現在では高校までを対象として実施している。</li> <li>・地元小学校、中学校及び高校を対象とした取組みは、自社が率先して関係者に取組みのための種（コンテンツ）を提供する形で開始し、一部の小中学校では、これらの取組みが定着し、学年引継ぎ時の申し送り事項になっている。</li> <li>・地元小学校、中学校を対象とした工場見学会では、化学物質管理に係る内容として、工場から排出されている煙や排水に着目して説明する形で紹介している。</li> </ul> |

#### 5. 4 矢崎電線株式会社 沼津製作所殿

矢崎電線株式会社 沼津製作所殿のヒアリング結果を表5. 4に示す。

表5. 4 ヒアリング結果（矢崎電線株式会社 沼津製作所殿）

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
| 設問2  | アンケート | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域説明会・対話集会</li> <li>4. 工場見学会（一般市民向け）</li> </ol> |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションを含んだ最も主要な形式は、「8. 催し物」である。</li> <li>・毎年、市が主催する催し物（沼津市環境展）に参加し、パネル展示の形でリスクコミュニケーションを含んだ自社の環境への取組みを紹介している。</li> <li>・リスクコミュニケーションには直接関わらないが、「地域花見会」（「8. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動等）」に該当）や主に小学生向けの工場見学（「4. 工場見学会（一般市民向け）」に該当）も行っている。</li> </ul> |
| 設問4  | アンケート | 1. 当社（事業所）  |
|      | ヒアリング | ・本社からの指示もあり、ステークホルダーを対象としたミーティングを実施した。  |
| 設問5  | アンケート | 1. 定期的（b. 毎年）   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーミーティングは、2008年度に初めて実施した。</li> <li>・「地域花見会」や主に小学生向けの工場見学は、毎年実施している（「地域花見会」は、2009年度は実施しなかった）。</li> </ul>   |
| 設問6  | アンケート | 1. 事業所内   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動説明及び意見交換会は、事業所内の大会議室で実施した。</li> <li>・工場見学は、事業所全体を対象とし、PCB等の危険物を保管する倉庫を含めた主要な施設とした（見学したコースは、ISOの視察の際のコースに類似している）。</li> </ul>   |
| 設問7  | アンケート | 2008年6月6日（金曜日）13時～17時   |
|      | ヒアリング | ・環境活動説明が約1時間、工場見学が約1時間、意見交換会が約1時間半である。  |
| 設問8  | アンケート | 1. 近隣自治会役員<br>3. 地元自治体担当課<br>5. 近隣の事業者<br>7. その他（地元小学校教員）   |
|      | ヒアリング | ・上記回答以外に、廃棄物処理事業者、電力会社、商工会、病院（産業医）にも出席いただいた。  |
| 設問9  | アンケート | 1. 発言者、傍聴者とも一定のメンバーに限定した。   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会では、事前に募った参加者の中から、自由に質問を受け付けた。</li> <li>・当日参加は、特に募らなかった。</li> </ul>   |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
| 設問10 | アンケート | 2. 11人～30人（貴所：10人、対象者：12人、自治体：1人）   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴所の内訳は、意見交換会へ出席したメンバーを含む、当日対応した要員数の合計である。</li> <li>・対象者の内訳は、近隣自治会役員（4人＜事業所隣接3自治会＋各自治会を束ねている自治会＞）、近隣の事業者（2人）、地元小学校教員（1人）、廃棄物処理事業者（2人）、電力会社（1人）、商工会（1人）、病院（産業医：1人）である。</li> </ul> |
| 設問11 | アンケート | 2. 依頼していない  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施前に、司会進行を第三者に依頼する話もあったが、事前調整の手間等の問題から、結果として当社の人間が対応した。</li> </ul>  |
| 設問12 | アンケート | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者：2名、準備：2ヶ月</li> </ul>  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備としては、関係者との調整が主だったもので、それ以外に参加者への案内状の送付、事前アンケートの回収・集約、当日配布資料の作成等を行った。</li> <li>・具体的には、日単位でのスケジュール表をもとに、あらかじめ2名で役割分担を行い、それぞれが準備を行った。</li> </ul>                                  |
| 設問13 | アンケート | 2. 10万円以内   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の内訳は、ほとんどがお茶代、お茶菓子代である。</li> </ul>  |
| 設問14 | アンケート | 3. 自治会長への連絡<br>7. 近隣事業者への案内   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者には、直接案内（事前質問票、CSR報告書、サイトレポートを同封）を送付した。</li> <li>・関係者の連絡先は、これまでのつきあいで事前に把握していた。</li> </ul>  |
| 設問15 | アンケート | 1. 化学物質の排出量（PRTR制度など）<br>2. 化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）<br>3. 騒音、振動<br>4. 臭気<br>6. 排水処理<br>7. 地震など、災害時の対応<br>8. 温暖化対策や省エネ対策<br>9. 廃棄物対策  |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の排出量（PRTR制度など）及び化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）は、事業所独自のサイトレポート等をもとに作成したパワーポイントで説明した。</li> </ul>  |

| 設問番号   | 確認方法  | 回答内容   |
|--------|-------|--|
| 設問 1 6 | アンケート | 1. 化学物質の排出量（P R T R制度など）<br>2. 化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）<br>3. 騒音<br>4. 臭気<br>6. 排水処理<br>7. 地震、災害時の対応<br>8. 温暖化対策や省エネ対策<br>9. 廃棄物対策   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣事業者からは、化学物質管理に関する質問が多かった。</li> <li>・近隣自治会役員からは、騒音や臭気など、身近に感じられる内容に関する質問が多かった。</li> <li>・質疑のほとんどが、発表内容や工場見学に関する質問で、要望はほとんど出なかった。</li> <li>・意見交換会実施後には、近隣自治会役員から安心したとのコメントもいただいた。</li> </ul> |
| 設問 1 7 | アンケート | <b>【実施前】</b> 1. 実施した<br><b>【実施後】</b> 1. 実施した   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【実施前】は、C S R報告書、サイトレポートに関する質問や、当事業所に関するイメージについて自由記述形式でアンケートを実施した。</li> <li>・【実施後】は、再度当事業所に関するイメージについて自由記述形式でアンケートを実施した。</li> </ul>   |
| 設問 1 9 | アンケート | 1. 実施した（a. HPや環境報告書等で公表）   |
|        | ヒアリング | ・矢崎総業（株）のHP及びサイトレポートにて今回の取組みを報告した。   |
| 設問 2 3 | アンケート | 4. 実施する予定がある（b. 実施時期は決定（6月あたりに実施しようと考えている））  |
|        | ヒアリング | ・今年度も、昨年度と同程度で開催したいと考えている。   |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容   |
|------|-------|--|
| その他  | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2008年度にはじめてステークホルダーミーティングを実施したが、実際には、前年度に他の事業所でのステークホルダーミーティングを傍聴するところから活動を開始した。</li> <li>・ 実施にあたり、参加者に対し、何をどのように説明すべきかが非常に悩ましかった。</li> <li>・ 小学生や中学生を対象としたリスクコミュニケーションや、国内でのトップランナーの事例をHPで公開いただけると非常に参考になる。</li> <li>・ MSDS制度が非常に分かりにくく、化学物質の情報を子供に対してどのように説明すべきか悩んでいる。</li> </ul> |

### 5. 5 日本化薬株式会社 厚狭工場殿

日本化薬株式会社 厚狭工場殿のヒアリング結果を表5. 5に示す。

表5. 5 ヒアリング結果（日本化薬株式会社 厚狭工場殿）

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
| 設問2  | アンケート | 1. 地域説明会・対話集会<br>8. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動等）   |
|      | ヒアリング | ・ 共に主要な形式であるため、最も主要な形式は記載していない。   |
| 設問3  | アンケート | 地区懇談会、工場祭   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区懇談会は、川東工場に隣接する自治会を対象に、化薬アクト株式会社（関連会社）と共催で実施している。</li> <li>・ 工場祭は、正式名称を「わっしょいかやく祭り」といい、厚狭工場全体（川東工場、川西工場）で実施している。</li> </ul> |
| 設問4  | アンケート | 1. 当社（事業所）  |
|      | ヒアリング | ・ 事業所が主体となって実施している。   |
| 設問5  | アンケート | 1. 定期的（b. 毎年）   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区懇談会は、20年以上にわたり定期的を実施している。</li> <li>・ 工場祭は、ここ10年くらいは実施していなかったが、2008年度に復活させた。</li> </ul>                                     |
| 設問6  | アンケート | 1. 事業所内、3. 公共施設   |
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区懇談会は、事業所近隣の公民館（「3. 公共施設」に該当）で実施した。</li> <li>・ 工場祭は、事業所敷地内の駐車場（「1. 事業所内」に該当）で実施した。</li> </ul>                               |

| 設問番号  | 確認方法  | 回答内容   |
|-------|-------|--|
| 設問 7  | アンケート | ① 2008年6月18日(水曜日) 18時～19時 地区懇談会<br>② 2008年9月20日(土曜日) 10時～15時 お祭り   |
|       | ヒアリング | ・地区懇談会は、事業所からの報告(20分程度)及び意見交換会(40分程度)の2部構成とした。事業所からの報告は、パワーポイントを用いて行った。<br>・工場祭は、各種模擬店のほか、花火作り体験、地元幼稚園・中学生による出し物(遊戯、吹奏楽)、山陽小野田市の寝太郎太鼓の構成とし、事業所の取組みについては、今回は発表を見合わせた。 |
| 設問 8  | アンケート | 1. 近隣自治会役員<br>2. 近隣住民  |
|       | ヒアリング | ・地区懇談会は、川東工場に隣接する自治会役員を対象に実施した。<br>・工場祭は、事業所に隣接する地区の住民を対象に実施した。  |
| 設問 9  | アンケート | 4. 当日参加とし、参加者の発言の制限をしていない  |
|       | ヒアリング | ・地区懇談会は、出席者の調整を自治会長に一任したため、当日まで出席者が分からなかった。また、当日出席いただいた方から、自由に発言いただいた。   |
| 設問 10 | アンケート | 【地区懇】 2. 11人～30人(貴所:10人、対象者:10人)<br>【工場祭】 5. 101人以上(貴所:100人、対象者:1,000人)  |
|       | ヒアリング | ・地区懇談会は、川東工場に隣接する自治会役員のほか、オブザーバーとして山陽小野田市の担当部署の方も出席された。<br>・工場祭は、臨時シャトルバスの運行を他社に依頼したが、それ以外の項目については、基本的に自社ですべて対応した。   |
| 設問 11 | アンケート | 2. 依頼していない   |
|       | ヒアリング | ・これまでも、第三者に事業の進行や情報提供を依頼した実績はない。   |
| 設問 12 | アンケート | ・地区懇は、担当部署が1週間程度<br>・お祭りは、実行委員20名程度が6ヶ月  |
|       | ヒアリング | ・地区懇談会は、担当者数名が事前準備として、関係者との調整や事業所の取組みのパワーポイントの作成を行った。<br>・工場祭は、実施内容を含めて、ゼロから企画を作成した。   |

| 設問番号   | 確認方法  | 回答内容   |
|--------|-------|--|
| 設問 1 3 | アンケート | 3. 10万円以内<br>5. 100万円を超える  |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇談会は、「3. 10万円以内」が該当し、経費のほとんどがお茶代、お茶菓子代及び会場賃借料である。</li> <li>・工場祭は、「5. 100万円を超える」が該当し、会場設営費（ステージ賃借代）、バス運行代、各種模擬店の食材費（当日は無料で提供した）、花火材料費等がかかっている。</li> </ul>   |
| 設問 1 4 | アンケート | 3. 自治会長への連絡<br>5. 近隣自治会の回覧板  |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇談会は、「3. 自治会長への連絡」が該当し、自治会長へ案内を行い、地元自治会役員の出席調整を行っていた。</li> <li>・工場祭は、「5. 近隣自治会の回覧板」が該当し、近隣自治会に依頼し、祭り開催の案内を回覧してもらった。あわせて、1週間ほど前には、有線放送での案内も実施した。</li> </ul> |
| 設問 1 5 | アンケート | 3. 騒音、振動<br>4. 臭気<br>6. 排水処理   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取組みは、パワーポイントを用いて説明した。</li> </ul>   |
| 設問 1 6 | アンケート | 2. 化学物質の管理状況（消防法、毒劇法など）<br>4. 臭気<br>5. 敷地内の植栽や緑化   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇談会で挙げられた要望は、実施後に取りまとめて社内で回覧し、対応可能なものについては随時対応し、次年度の地区懇談会にて対応状況を報告している。</li> </ul>   |
| 設問 1 9 | アンケート | 1. 実施した（a. HPや環境報告書等で公表）   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取組みは本社へ報告を行っており、本社で発行している「CSRレポート」により社外にPRする。</li> </ul>   |
| 設問 2 3 | アンケート | 回答なし   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. 実施する予定がある（b. 実施時期は決定）」が該当する。</li> <li>・地区懇談会は、6月に実施予定である。</li> <li>・工場祭は、11月に実施予定である。</li> </ul>   |
| 設問 2 5 | アンケート | 回答なし   |
|        | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1. 対象物質を取り扱い・排出しており、記載している」が該当する。</li> </ul>  |
| 設問 2 6 | アンケート | 回答なし   |

| 設問番号 | 確認方法  | 回答内容  |
|------|-------|---|
|      | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P R T R に関係する部署には、 C S R レポートに記載するための資料作成を依頼しており、自社の取組み状況を把握しているものと思われるが、環境報告書等を配布する形での取組みは実施していない。</li> </ul>   |
| その他  | ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスクコミュニケーションに関する取組みについては、同業他社の状況について興味がある。</li> <li>・ 地区懇談会では、事業所でのトピックを取りまとめて報告している。その際に、事故等があった場合にも情報を開示して、原因及び再発防止策を含めて報告している。</li> <li>・ 地区懇談会で発表する内容は、参加者の反応を見ながら随時改善し、現在の形に落ち着いている。</li> </ul> |

## 6. ウェブページコンテンツの作成

アンケート調査及び詳細調査で新たに把握した事例を、別途化学物質管理センター殿からご提供いただいた現行のウェブページの国内事例をもとに、公開用ファイルの原稿を作成した。

対象とした HTML ファイルは以下のとおり。

追 加：地域別リスクコミュニケーション事例

新規作成：リスクコミュニケーション事例詳細版（約 5 件）

上記の各ファイルについて、アンケート調査及び詳細調査で把握した事例情報が表示されるよう内容を追加、あるいは新規作成した。なお、別途ご提示いただいた県については、指定のアドレスにリンクさせた。公開用ファイルを資料 1 に示す。

## 7. まとめ

本業務では、「リスクコミュニケーションの国内事例」のコンテンツに最新の情報を調査し、htmlに取りまとめた。

本件のとりまとめ結果は、各企業殿が実施するリスクコミュニケーションの実施に資する基礎情報と位置付けられ、コンテンツの拡充を継続的に行うことが必要と考える。コンテンツのさらなる拡充を行うための具体の方法として、以下事項が考えられる。

### (1) アンケート調査票の見直し

ヒアリング先で、アンケート調査票が書きにくいとの声があった。特に、設問4以降について、設問3で複数の事業を記載した場合に、どの事業について書けばよいのか分かりにくいとのことだった。

次年度以降は、htmlに記載すべき内容を再度見直すもとに、見直した内容に基づきアンケート調査票のサンプルを作成し、必要に応じて関係者にヒアリング調査を実施して書きやすさを確認するなど、調査客体の書きやすさに配慮したアンケートを行うことが望まれる。

### (2) 調査客体の拡大

今回の調査では、約210社に対してアンケート調査票を発送したが、アンケートを発送していない都道府県があったなど、発送先の地域にかたよりがあったと思われる。公平性の観点から、全都道府県に対して調査票を発送することが望ましいと思われる。そのため、次年度調査においては、PRTR届け出データをもとに、発送名簿を作成することも一案と思われる。また、これらの名簿作成業務を仕様に追加することも一案と思われる。

### (3) htmlコンテンツ内容の充実

今年度は、アンケート結果をもとに各事業所の取組みを整理する形でhtmlコンテンツを作成したが、ヒアリング先でhtmlコンテンツ内に写真等があるとより分かりやすいとの声があった。詳細調査先から該当事業に関する写真等を提供いただき、htmlコンテンツに反映させることも一案と思われる。